

## 日退教 第 50 回定期総会 会長あいさつ

おはようございます。コロナ感染はまだまだ油断できない状況ですが、4年ぶりに通常の形で定期総会をひらくことが出来ました。第50回定期総会にお忙しい中ご臨席いただいた来賓の皆様ありがとうございます。

昨年夏の参議院選挙での古賀さんの勝利に続き、この4月の統一地方選挙では、各単会の皆様のご奮闘で日政連候補は良い成績を上げることが出来ました。しかし全体を見れば岸田政権に一撃を与える政治状況を作り出すには至りませんでした。

先のG7広島サミットは、ゼレンスキー一色となり、広島を蹂躪し、核廃絶の道筋は示さず、核抑止論を正当化するものでした。今国会には、「敵基地攻撃能力を保有する」、「2023年度から5年間の防衛費を現行計画の1.5倍以上となる43兆円とする」ことなどを盛り込んだ、安保関連三文書の一方的な改定に基づく、関連法案が提出されています。「専守防衛」としてきた安保政策を大きく変えるものです。国会発議、国民投票という手続きを飛ばして「9条改憲」状況を作り出しています。

昨年9月、副会長本村富美子さんがご逝去されました。日退教副会長として、退職者連合常任幹事として「ジェンダー平等」の実現に尽力されました。日退教各単会の組織活動に、そして退職者連合、各県退連にも着実に広がりを見せています。これからもしっかりと取り組んでいきます。

今年度から定年延長が始まります。組織の維持拡大には厳しい状況が予想されますが、各単会のとりくみを交流し努力していきます。あきらめずに声を上げ続け、仲間には声をかけ続けていきましょう。